

Rotary



Rotary Opens Opportunities



ロータリーは 機会の扉を開く



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 渡 邊 有 規

幹 事 田 原 聖

会報・雑誌委員長 伊藤 繁幸

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2891号 2020年11月17日(晴れ) 第17回例会 会員数120名 列席多数



点 鐘 渡邊 有規会長
司 会 副SAA 野添会員

- ◇ロータリーソング コロナ感染防止のため割愛
- ◇本日のランチ 持ち帰り弁当



ビジター紹介 倉井会長エレクト

- ◇来訪ロータリアン
1名(1クラブ) 累計26,578名
卓話講師 RI第2550地区ロータリー財団部門 財団補助金委員会 委員長 熊倉 学様(宇都宮陽北RC)

会長挨拶 渡邊(有) 会長

皆様、こんにちは。10月そして11月にも講話をいただきました私どもの名誉会員であります福田富一知事、佐藤栄一市長が、大きく候補者を引き離し当選を果たしました。皆様、選挙ご苦労様でした。また、前回の会長挨拶で報告した11月1日のアクト3クラブの共同奉仕活動の様子が栃木テレビに放映されましたのでご覧下さい。

— テレビ放映の鑑賞 —

さて、このところ、コロナウイルス第三波の危険が高く、毎日新聞を賑わせております。そのような中、皆様にご報告があります。ご存知のとおり、1961年1月9日が当クラブのRI加盟認証となった日です。今まで9回の周年記念式典はすべて1月開催で、60周年記念式典も1月に行なうよう進めて参りました。しかしながら、コロナウイルスの今後の動向を鑑みて、特別委員会委員長、実行委員会委員長、副委員長方々とも相談打ち合わせをし、11月10日の理事役員会にて、断腸の思いで式典を延期していただきたいとお話いたしました。1月開催を5月開催に延期するという決断をいただきました。今後については役員理事とも相談させていただき、皆様にも

ご報告させていただきたいと思っております。ご承諾、よろしくお願い致します。

11月は「ロータリー財団月間」です。本日は、熊倉RI第2550地区ロータリー財団部門財団補助金委員長にお越しいただきました。お話をお聞かせいただき、皆様と共に学びたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

◇ロータリー財団より表彰

<マルチプルPHF>

- 小林 正明会員(2回目)
- 松本 弘元会員(3回目)
- 今泉 臣夫会員(4回目)



委員会報告

◇出席委員会

原委員長

<皆出席表彰・10月分>

- 通算24年 今泉 臣夫会員
- 連続 3年 飯泉 修一会員
- 通算 1年 山下 大介会員

◇ロータリー財団委員会 倉井委員長

「ロータリー財団月間」にちなんで委員会報告。

- ・財団への寄付 8月19日に120名×一人当たり75ドル(年次基金60ドル、ポリオプラス15ドル)寄付。年次基金に宮下会員1000ドル、金澤正邦会員1000ドル、羽石会員1000ドル、倉井会員1000ドル寄付。ポリオプラスに高野会員5000ドル、宮下会員1000ドル寄付。
- ・地区補助金「東日本大震災の発生から10年目の節目に当たり、被災地の地域住民の方々の方に心を明るさを灯し、活力を高めるお花見復活プロジェクト」で申請。8月26日に267,500円入金。プロジェクトは来年3月に行う予定。

地区ロータリー財団卓話

「ロータリー財団について」

地RI第2550地区ロータリー財団部門

財団補助金委員会 委員長 熊倉 学様

皆様、こんにちは。今日は、財団の特に補助金について卓話をさせていただきたいと思っております。

— パワーポイント及び配布資料にて説明 —

その前に、2つの感謝を申し上げます。一つは、去る2月20日の補助金説明会に渡邊会長はじめ4名の方にご出席いただきありがとうございました。また、谷田部様に地区の補助金委員会にご参加いただき、大変助かっております。もう一つは、地区では財団への寄付を150ドルお願いしておりますが、東RCからは161ドルの寄付をいただいております。心より御礼申し上げます。

財団についてですが、正式名称が、国際ロータリーのロータリー財団（PRF）です。「世界でよいことをしよう」が、財団の一番の目標です。2013年6月まで、補助金は12種類あり、わかりにくく、補助金の使用率が約60%でした。それを2013年7月より2つの補助金に分けました。グローバル補助金と地区補助金の2つで、非常に使いやすくなりました。

グローバル補助金&地区補助金

- ・費用の要件 事業の金額が、グローバル補助金は最低3万ドル以上。地区補助金はなし（2550地区は上限が3,000ドル）。
- ・資金 グローバル補助金はWF（国際財団活動資金）、DDF（地区財団活動資金）、現金寄贈。地区補助金はDDF。
- ・申請 グローバル補助金はクラブが直接財団に申請、同時に地区へもペーパーを提出。地区補助金は地区へ提出。
- ・重点分野の要件 グローバル補助金は重点分野の一つに該当。地区補助金はなし。
- ・パートナーシップの要件 グローバル補助金は実施国と援助国の提唱者。地区補助金はなし。
- ・持続可能性の要件 グローバル補助金はありません。地区補助金はなし（単年度であるため）。
- ・測定可能性の要件 グローバル補助金はありません。（やった結果をチェック）。地区補助金はなし。
- ・奨学金 グローバル補助金を使う場合は約600万円。地区補助金は概算として200万円（国内2名×50万円、海外1名×100万円）。

このように比較をすると、地区補助金は非常に使い勝手が良い、ということでございます。補助金の原資は、年次基金の全額、恒久基金の利息、ポリオプラス基金をあわせたものを3年間寝かせます。そして、3年後に補助金として使われます。WFに50%、残りの50%がDDFとなります。地区補助金として使えるのは総額の4分の1です。

シェアシステムの説明

- ・シェアシステムでは資金をWFとDDFに二分
- ・その全額が、ロータリー補助金として「世界でよいことをする」ための活動に充てられる。
- ・WFの用途は管理委員（R財団）が決定。
- ・DDFの用途は各地区で決める。

地区補助金残額の用途

- ・国際ロータリーに戻す。
- ・次年度、繰越DDFに組み入れられる。
- ・繰越DDFは、基本は、グローバル補助金として利用される。

支援資金の有効活用先

- ・ポリオ根絶
- ・恒久基金への寄贈 平和センター基金寄贈
- ・6つの重点分野への寄贈 他

ロータリー章典

「新しいRIプロジェクト ポリオプラスプログラムが成功裏に終了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない」

ポリオ撲滅は、発症者が一人もいなくなり、尚且つ、3年間一人の発症者もでないことが確認されて認定となっています。ただ、ワクチンは運び続けなければならないので、基金は残っていくと言われていま

地区補助金 補足説明

地区補助金は総額の20%以上がクラブ負担となります。30万円の事業であれば6万円以上がクラブ負担となるわけです。奨学金におきましては、10%のクラブ負担金が発生して参ります。

グローバル補助金と地区補助金に関しましては以上ですが、財団委員長から一つ言われていることがございますので、お伝えさせていただきたいと思っております。ロータリーでは、オリコとダイナースのロータリーカードがあります。これは使った分の3%がロータリーに寄付されるようですので、皆様、是非、ロータリーカードをお持ちいただければと思います。クラブで使う会場費や食費、イベントなど大きなものに使っていただく寄付額も大きくなるのではないかと申しておりました。

